

ノウフク・アワード2024応募用紙(記入例)

【その他(特別支援学校)】

1. 応募者の概要(必須)				
名称	(ふりがな)〇〇けんりつとくべつしえんがっこう			
所在地	〇〇県立特別支援学校 〒000-0000 〇〇県△△市			
担当者連絡先	部署・役職	教頭	氏名	〇〇 △△
	メール	aaaa@bbb.com	電話番号	000-00-0000
取組主体 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 農林水産業経営体 <input type="checkbox"/> 農林水産業関係団体 <input type="checkbox"/> 一般社団法人 <input type="checkbox"/> 社会福祉法人 <input type="checkbox"/> NPO 法人 <input type="checkbox"/> 特例子会社 <input type="checkbox"/> 地方自治体 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 地域協議会 <input type="checkbox"/> 矯正施設 <input type="checkbox"/> 更生保護施設 <input type="checkbox"/> 高齢者施設 <input type="checkbox"/> その他()			
設立年月日	(西暦) 2004年4月		(設立25年目)	
農福連携開始年月日	(西暦) 2021年4月		(開始4年目)	
取り組んでいる事業 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 農業(<input checked="" type="checkbox"/> 慣行農業 <input type="checkbox"/> 環境保全型農業 <input type="checkbox"/> 特別栽培農産物の栽培 <input type="checkbox"/> 有機農業(自然農法を含む)) <input type="checkbox"/> 林業 <input type="checkbox"/> 水産業 <input type="checkbox"/> 加工業 <input type="checkbox"/> スマート農業 <input type="checkbox"/> 輸出 <input type="checkbox"/> 就労継続支援 A 型 <input type="checkbox"/> 就労継続支援 B 型 <input type="checkbox"/> 就労移行支援 <input type="checkbox"/> 生活介護 <input type="checkbox"/> 放課後等デイサービス <input type="checkbox"/> 高齢者介護 <input type="checkbox"/> 中間支援 <input type="checkbox"/> ユニバーサル農園 <input type="checkbox"/> その他()			
実施要領3(1)募集する取組のうち該当する取組 (最も力を入れている取組について1つ選択して下さい)	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥ <input type="checkbox"/> ⑦ <input type="checkbox"/> ⑧ <input type="checkbox"/> ⑨ <input checked="" type="checkbox"/> ⑩ ※①農業経営体が障害者等を直接雇用している取組 ②社会福祉法人等が運営する障害福祉サービス事業所が自ら農業を行う取組、又は自ら生産した農産物等を使って加工食品の製造を行う取組 ③社会福祉法人等が農業法人を設立し、当該農業法人において障害者等が農業を行う取組 ④農業法人が障害福祉サービス事業所を設立し、当該事業所の障害者等がその農業法人の農場等で農業を行う取組 ⑤農業経営体と障害福祉サービス事業所が農作業に関する請負契約を締結して、障害者等が施設外就労で農作業等を行う取組 ⑥地域内又は近隣の市町村等の農業経営体や障害福祉サービス事業所と連携して、これらから農産物等を仕入れて、障害福祉サービス事業所等が加工食品の製造を行う取組 ⑦企業や協同組合などが自ら、又は特例子会社を設置して障害者等を雇用し、農業を行う取組 ⑧地域協議会、NPO法人、協同組合等による、地域の農福連携等の需給状況の把握や年間を通じた農作業の創出、マッチング、地域の農業の特性を踏まえた農作業の受委託のルールづくり、農福連携等の取組主体の拡大に向けた体験会の開催、人材育成等の役割を整理・周知等の取組 ⑨地方公共団体等が支援して農福連携を行っている取組 ⑩その他、地域における農福連携の定着に向けた取組、障害者等の農林水産分野での活躍を見据えた取組、ユニバーサル農園の取組、特別支援学校等教育機関での取組、高齢者施設、矯正施設や更生保護施設での取組、生活介護や放課後等デイサービスなど福の広がりに関する取組等、未来につながる取組			

生産作物 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 米・麦・大豆 <input checked="" type="checkbox"/> 野菜 <input type="checkbox"/> 果樹 <input type="checkbox"/> 畜産 <input type="checkbox"/> その他()
栽培形態 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 露地 <input type="checkbox"/> 施設園芸 <input type="checkbox"/> その他()
農福連携の体系図	〇〇県立特別支援学校—JA△△ (該当する場合)※複数回答可 <input type="checkbox"/> 直接雇用 <input type="checkbox"/> 施設外就労 <input checked="" type="checkbox"/> 農業参入
認定・取得済みの 認証等 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 認定農業者(認定新規就農者を含む) <input type="checkbox"/> 6次産業化認定事業者 <input type="checkbox"/> ノウフク JAS <input type="checkbox"/> 有機 JAS <input type="checkbox"/> GGAP <input type="checkbox"/> JGAP <input type="checkbox"/> その他の GAP <input type="checkbox"/> その他()
受け入れている者 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 身体障害 <input type="checkbox"/> 精神障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> その他の障害 <input type="checkbox"/> 生活困窮者 <input type="checkbox"/> ひきこもりの状態にある者 <input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 犯罪をした者 <input type="checkbox"/> その他()

2. 取組の概略(必須) 取組の特長などを要約して 60 文字程度で記入してください。

JA〇〇との連携の下、同行の生徒が地域の農業経営体に出向いて農作業を手伝うことで、障害者の新たな可能性を見出し、農業経営体への就労にもつなげている。

3. 活動のきっかけ(必須) ※200 文字程度で記入してください。

- ◆〇〇農政局が開催した農福連携セミナーに参加し、障害者が農業分野で活躍し、自立につなげている事例を見て、支援学校の生徒にも農業体験させることで、新たな就労先とまらないかを検討
- ◆地域の JA にこのこと相談したところ、地域の農業経営体も高齢化し、労働力不足が深刻化していることから、生徒が農業経営体に出向いて農作業を手伝うことで、農業に興味を持ってもらってはどうかといった提案があり、2年生と3年生を中心に農作業体験を開始した。

4. 取組の具体的内容及び成果(効果)(必須)

※審査基準である①人を耕す、②地域を耕す、③未来を耕すについて、活動内容、時期及びその成果(効果)をそれぞれ 600 文字以内で記入してください。※字数制限を著しく超過する場合は減点対象となります。あらかじめご了承ください。

※応募主体別の審査基準の評価ポイントについては以下をご確認ください。

- ・農業経営体が主体となっている取組の審査基準はこちら(URL:)
- ・福祉事業所等が主体となっている取組の審査基準はこちら(URL:)
- ・特例子会社や企業等が主体となっている取組の審査基準はこちら(URL:)
- ・JA、NPO 法人、地域協議会等中間支援組織が主体となっている取組の審査基準はこちら
(URL:)
- ・その他(特別支援学校、高齢者介護、放課後等デイサービス等)の取組の審査基準はこちら
(URL:)

① 人を耕す(例:①工賃や賃金の向上に対する取組、②障害者等が管理者や責任者などにステップアップしている事例、③農作業中等の安全管理や健康管理の取組、④一般就労につながった事例、⑤多様な人々が働くことができる職場環境の創出に関する取組、⑥多様な人々がお互いを認め合い、寄り添い、助け合おうとする環境の創出に関する取組等について記載してください)

- ◆取組当初は、初めての農作業に戸惑う生徒が多かったが、農業経営体や JA の職員の丁寧な説明で、農作業ができるようになり、最初は引込み思案の生徒も生き生きと農作業に取り組むようになった。
- ◆農作業は怪我などの事故が発生しやすいので安全対策マニュアルを作成し、受け入れ農業経営体に提供したほか、農業経営体に対して障害者の特性等についての講習会を開催し、障害者に対する理解の向上を図った。また、健康管理についても配慮し、特に夏場の熱中症対策のために、休憩所の設置や適度な休憩などの措置を行ってもらうよう農業経営体やJAにお伝えし、理解を求めた。

◆特別支援学校の生徒を受け入れることに懐疑的であった農業経営体も障害者がまじめに農作業を行う姿やスキルアップする姿を見て障害者に対する理解が深まり、労働力不足に悩んでいた農業経営体にとっては、貴重な労働力となって、win-win の関係が構築されるようになった。

◆農業経営体の中には、卒業後、雇用したいといったところも現れたほか、生徒の中にも、卒業後、農業経営体や農業関連の企業に就職した生徒も出てきており、農業が障害者にとって新たな就労先として選択されるようになった。JAでも農業に就職を希望する障害者に対して就職支援を行っている。

◆この取組を始めたことにより、地域における障害者に対する理解が深まり、地域内でお互いが助け合う相互扶助の環境ができてきた。

② 地域を耕す(例:①農福連携を通じた収益性・生産性の向上、②地域の農地・伝統野菜・農業技術等の継承し、農林水産業の維持・発展に貢献する取組、③荒廃農地の再生等により、地域の農林水産業を支える取組、④地域の祭りやイベントへの参加等を通じた地域コミュニティの維持・発展に貢献する取組、⑤直売所やレストラン・カフェの開設、農作業体験や収穫体験等を通じて地域内外からの交流人口の増加につなげる取組、⑥地域の企業、JA、学校、行政等の異業種との連携による地域活性化の取組等について記載してください)

◆労働力不足に悩む農業経営体にとっては、支援学校の生徒が貴重な労働力となり、今まで農業経営体だけで行ってきた作業の一部を障害者に任せることで農業経営に余裕が生まれたことで、新たな農作物の作付を行う農業経営体も出てきている。

◆高齢化の進展や後継者不足で悩む地域で、特別支援学校の生徒が卒業後、地域に留まって農業に就労してくれることで、新たな労働力参入に期待が持てるようになり、地域農業の維持につながるようになった。

◆高齢の農業経営体から農地を貸すので、農業に取り組みないかといった提案があり、2023年からは 30a の農地を借りて、農業経営体やJAの指導の下で農作物の栽培を開始し、当校の文化祭やバザーにおいて収穫した農産物を販売することで、地域の方とのつながりもできるようになった。

◆農業体験を兼ねた施設外就労とほ場を借りての農業に取り組みすることで、生徒の農業のスキルが向上し、ほ場で生産された農産物を学校給食の食材として使いたいといった申し出があり、農業の可能性を感じている。

◆また、近隣の幼稚園や小学校の生徒を招いて障害者と共に芋掘り体験を行い、当校の生徒が農作業をアドバイスするなど、交流を図ることで障害者に対する理解が深まった。

◆当校の取組は、農業経営体やJA、学校など地域を巻き込んだ取組となりつつあり、地域活性化にもつながる取組へと進展している。

③ 未来を耕す(例:①先進性・独自性・話題性のある取組、②これから農福連携に取り組む団体等の参考となる取組であり、全国への波及効果が期待できる取組、③持続可能な地域共生社会や多様性のある地域づくりに貢献する取組、④幅広い分野・地域とのつながりを生むことで、新しい農福連携の形が形成されている取組、⑤ノウフクJAS や GAP 等の認証取得や6次産業化などを通じて、生産物の付加価値向上に関する取組等について記載してください)

◆本校の取組について全国的にも珍しく、特別支援学校が取り組む農福連携の好事例としてテレビ局から取材の申し込みがあり、ニュースで放映されたことから、他の支援学校や市町村、JAから見学に来るようになった。また、新聞社からの取材も増え、農業新聞などに掲載されるようになった。

◆特別支援学校の生徒の就労先が限定される中で、農業分野への就職は、障害者の職業選択の拡大につながる一方で、慢性的な労働力不足に悩む農業経営体にとっても貴重な労働力となっており、こうした取組を通じて、障害者も地域で活躍できる持続可能な共生社会の構築へとつながるものと期待される。

◆講演依頼も増え、講演を通じて当施設の取組を紹介することで、他県でも同様の取組を始めた介護老人ホームが現れるなど、取組が広がっている。

◆支援学校の生徒を受け入れることで、農業経営体によっては、障害者目線で農作業の内容を見直したり、作業しやすい環境を整備するようになり、これにより農業経営体も農作業の効率化につながり、経営が安定した事例が見られるようになった。

◆県が主催する農福連携セミナーに参加したところ、ノウフクJASについての説明があり、当校のほ場で生産した農産物にノウフクJASの認証が取得できないか、認証機関に相談中であり、もし、取得ができれば全国初となることから、取得に向けた検討を進めているところである。

5. 活動実績(必須) ※「項目」は、①農地面積、②荒廃農地の解消、③売上高、④障害者等 1 名あたりの月平均工賃・月平均賃金、福祉事業所等への請負報酬の支払額⑤農作業に関わる障害者等の数、⑥交流人口等、取組実績がわかるものについて、項目ごとに取組当初時と直近5年間の推移を表形式で記入してください。
特に①～⑤の項目について、該当する場合は必ず記入してください。

項目	単位	取組当初	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年 (見込み)
農地面積	a	-	-	-	-	30	30	40
特記事項(任意): 高齢農家から農地 30a を借りて農業開始								
農産物売上高	万円	-	-	-	-	10	20	40
特記事項(任意): 農産物の売上金額は増加傾向								
受け入れ農業経営体数		3	-	-	3	5	8	8
特記事項(任意): 生徒受け入れ農業経営体は取組当初から約3倍に増加								
交流人口		-	-	-	-	-	100	100
特記事項(任意): 農業体験等で小学校等の生徒の受け入れ人数								
特記事項(任意):								

※COVID-19 を原因として減少または減少となる見込みである場合は、実績値に「※」を記入してください。また、COVID-19 関連で実績に影響がある場合は、「4. 取組の具体的内容及び成果(効果)」に影響を踏まえた対応や工夫を記入してください。

6. 活動の主な変遷(必須) ※活動の主な変遷について記入してください。

取組当初	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年 (見込み)
JA等の指導を受けて農作業を開始			JA等の指導を受けて農作業を開始	高齢農家から農地を借りて農業を開始	生産した農産物を文化祭等で販売し、地域との交流が深まる	新たに農地を借りてほしい農家があり、農地面積は拡大する予定

7. 今後の展開方向(必須) ※200 字程度で箇条書きにて記入してください。

- ◆自ら生産した農産物を原材料農産物加工を行う加工場を整備することを検討しており、加工場では、地域の農業経営体から規格外の農産物も仕入れて加工食品の製造に取り組むことを検討中
- ◆地域の小学校とも連携して、本校で生産した農産物の一部を給食の食材として利用していただき、食育と障害者に対する理解の向上を図ってもらうことを今後も進める予定で、農福連携の取組みを通じて地域とのつながりを深め、障害者に対する理解を深めたい。

8. 取組内容がわかる写真等(必須)

※写真、図表等を貼付し、20 文字程度で説明を記入してください。取組内容を代表する写真を必ず3枚以上貼付してください。

※第三者の肖像権、著作権、プライバシー等を侵害することのないように十分注意してください。

※写真等を貼り付ける際は圧縮するなどして、Wordのファイルサイズが5MB 以下となるようにしてください。

--	--

9. 表彰等の受賞歴(該当があれば記入)	
表彰名等(受賞年度)	主催者

10. 活動に関するPR・エピソード(自由記入、写真、PR動画 ^④ 等添付可)(任意)
※200字程度で記入してください。
この欄への記載は任意ですが、取組を行う中で、上記で記載した内容以外で、これだけはPRしておきたいことや、エピソードとして、取組にあたって苦勞されたこと、取組を進める中で印象的な出来事、取組の中での生じた変化や新たな発見などがあれば記載してください。

- ① 記入欄には指定された文字数の範囲内で記入してください(文字の大きさも、当初の設定から変更しないでください)。
- ② ノウフク・アワードは、農福連携の普及啓発を目的に、表彰された取組内容はもちろんのこと、優良な取組事例を全国へ発信することとしており、応募用紙に記載・掲載いただいた内容及び写真については、農林水産省が行う広報活動及びノウフクポータルサイト(ノウフクWEB)への掲載並びに地方公共団体への情報提供等

(農林水産省ホームページへの掲載、選定事例集への掲載、政府施策紹介資料への掲載など)に使用することがございますので、あらかじめご了承ください。(個人名については公表、使用はいたしません。)

③ 提出いただいた応募用紙等については返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

④ 「10. 取組に関するPR・エピソード」にPR動画を添付する場合は、動画共有サイト(YouTube / Vimeo 等)やクラウドストレージサービス(OneDrive / iCloud / Dropbox / Googleドライブ)等にアップロードの上、URLを記入してください。